

## 平成23年度早池峰地域保全対策事業等の実施結果

## I 目的

早池峰地域は、固有種、希少種を含む数多くの高山植物が生育するなど、優れた自然環境を有している地域であり、昭和57年に国定公園に指定されたほか、国指定の自然環境保全地域、国の特別天然記念物、森林生態系保護地域、鳥獣保護区特別保護地区、保安林に指定され、特に高山植物帯は、わが国における高山植物の宝庫として全国に誇り得る県民の貴重な財産である。

早池峰地域の自然環境を保全し、自然と人間の共生を実現するため、関係法令に基づく保護対策の推進と同時に、景観や生態系を損なわない範囲での持続可能な利用を推進するとともに、地域の自然とそこに根ざした文化・風土を取り込み、地域の活性化にも寄与する地域一体型の保全対策を図ることが必要である。

この目的を達成し、早池峰地域の自然を未来に確実に引き継ぐため、利用者自らが自然に対する負荷の軽減を十分に心がけるよう自然の意義やマナーについて普及啓発を図ることを目的とし、行政機関と民間団体が、それぞれの役割に応じてパートナーシップを図り、次の早池峰地域保全対策事業を実施した。

## II 早池峰地域保全対策事業の実施状況

## 1 利用者のマナー向上対策

## (1) 広報活動

- 早池峰山車両通行規制のパンフレット、携帯トイレ普及啓発チラシ、マナーガイド、携帯トイレデー広報チラシの配布  
県外（岩手県各県外事務所、各都道府県、全国旅行業協会各都道府県支部、日本バス協会、近隣県（青森、秋田、宮城県）のバス会社、近隣県の旅行代理店）  
県内（各市町村、各広域振興局、旅行代理店、バス会社、山岳関係団体、県内登山用品店）
- 携帯トイレの販売協力要請  
県内の主要登山用品店に上記チラシの配布と併せて携帯トイレ販売の協力を要請
- ホームページによる広報  
県南広域振興局保健福祉環境部、市、岩手県交通等のホームページで早池峰地域の保全対策、車両通行規制などの内容を掲載
- マスコミ等による広報  
県政記者クラブを通じた情報提供

## (2) 早池峰クリーン&amp;グリーンキャンペーン

早池峰地域の自然環境の保全と適正な利用を図るため、関係法令に基づく保護対策のほか、利用者自らが早池峰地域の保全の必要性を理解し、自然に対する負荷の低減を心がけるよう、主要登山口等で登山者への啓発活動を行った。

平成23年度早池峰クリーン&グリーンキャンペーン参加状況

月 日	ボランティア人数	参加行政機関 (小田越及び河原の坊)	バス利用者数 <sup>注1)</sup>	備 考
6月12日 (日)	17	自然保護課 県南局保健福祉環境部	853	山開き
6月18日 (土)	7	花巻保健福祉環境センター 宮古保健福祉環境センター	278	
6月19日 (日)	23	県南局保健福祉環境部 道路環境課	445	し尿担ぎ下ろし
6月25日 (土)	10	花巻保健福祉環境センター 自然保護課	287	携帯トイレデー
6月26日 (日)	11	県南局保健福祉環境部 遠野市	272	携帯トイレデー
7月2日 (土)	10	花巻土木センター 宮古土木センター	485	携帯トイレデー
7月3日 (日)	9	県南局保健福祉環境部 自然保護課	277	携帯トイレデー
7月9日 (土)	11	花巻保健福祉環境センター 岩手南部森林管理署遠野支署	338	携帯トイレデー
7月10日 (日)	11	県南局保健福祉環境部 三陸北部森林管理署	405	し尿担ぎ下ろし (中止)
7月16日 (土)	14	花巻土木センター 自然保護課	407	
7月17日 (日)	8	県南局保健福祉環境部 東北地方環境事務所	665	
7月18日 (月・祝日)	5	県南局保健福祉環境部 花巻保健福祉環境センター 花巻市	343	海の日
7月23日 (土)	7	県南局保健福祉環境部 自然保護課	360	
7月24日 (日)	9	花巻保健福祉環境センター 宮古保健福祉環境センター	282	
7月30日 (土)	7	県南局保健福祉環境部 道路環境課	323	携帯トイレデー
7月31日 (日)	10	花巻土木センター 自然保護課	378	携帯トイレデー
8月6日 (土)	9	花巻保健福祉環境センター 遠野市	268	携帯トイレデー
8月7日 (日)	11	県南局保健福祉環境部 岩手県交通㈱	266	携帯トイレデー

月 日	ボランティア ア人数	参加行政機関 (小田越及び河原の坊)	バス利用 者数 <sup>注1)</sup>	備 考
合 計	延べ 189		6,932	

注1) バス利用者数は、利用券販売枚数 (グリーンボランティア券 330 枚除く)

- 期間 平成23年6月12日(日)～8月7日(日)までの土日祝日 計18日間
- 参加機関等  
早池峰グリーンボランティア、岩手県交通(株)、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、盛岡自然保護官事務所、花巻市、遠野市、宮古市、岩手県(県南広域振興局(保健福祉環境部、土木部)、県庁(自然保護課、道路環境課)、沿岸広域振興局(保健福祉環境部、土木部))
- 実施状況 登山口及び山頂等でのキャンペーン活動に期間中およそ延べ232人(うち早池峰グリーンボランティア189人)が参加した。
- 主な活動内容  
登山口 マナーガイドや携帯トイレ普及チラシの配布、山麓トイレの使用奨励、携帯トイレの普及促進、下山者に対する交通規制の周知  
登山道 登山者の指導、ハシゴ場等危険個所の誘導等  
山 頂 清掃活動、携帯トイレの普及促進活動等

## 2 山のトイレ問題への取組み

### (1) 携帯トイレ使用の普及促進活動

携帯トイレの利用を促進するため、早池峰総合休憩所、小田越監視員詰所、山頂避難小屋で合わせて1,472個(前年約2,052個)販売した。

携帯トイレの販売管理は、携帯トイレ販売管理組織「携帯トイレ「サポート早池峰」が行い、河原の坊及び小田越および山頂避難小屋に携帯トイレ無人販売箱を設置して、登山口者がいつでも携帯トイレを購入できるようにした。早池峰キャンペーンの日には、同団体及びキャンペーン参加者が登山口での販売に協力した。

### (2) 山頂避難小屋トイレのし尿担ぎ下し

山頂避難小屋トイレし尿の担ぎ下ろしは「早池峰にゴミは似合わない実行委員会」を中心とするボランティアにより、6月19日、8月21日、10月2日の計3回実施された。参加者延べ110人(前年度151人)、処理量合計449.0kg(前年度674.4kg)であった。

早池峰山頂避難小屋し尿処理状況(実行委員会から資料提供)

月 日	6/19	8/21	10/2	合 計
参加者	46名	28名	36名	110名
処理量	146.3 kg	105.5 kg	197.2 kg	449 kg

### (3) 携帯トイレデー(携帯トイレ使ってみでけDAY)の実施

平成21年度に早池峰山山頂避難小屋あり方検討部会が今後の取組方向として報告した、平日を含めた携帯トイレデーの拡大実施を行った。汲み取りトイレを終日閉鎖し、携帯トイレだけを使用する携帯トイレデーを、6月25日(土)から7月9日(土)と、

7月30日(土)から8月13日(土)まで実施した(合計30日間実施)。登山口で下山した登山者にアンケートを実施して携帯トイレについての意識調査をおこなった。回答者463人で、今後携帯トイレを使用しても良いという回答者が82%であった。

#### (4) 小田越登山口仮設トイレの設置

業務委託事業として、6月10日から9月9日まで、小田越登山口に仮設トイレ4基を設置し、登山者に登山前のトイレ使用を呼びかけた。し尿汲取り量は合計で2,520L(前年度2,970L)で、洗浄水量を差し引くと、登山者のし尿の量は1,184L(前年度935L)であったことがわかった。

また、使用済み携帯トイレ回収について6月から10月まで行い、小田越で318個、川原の坊47個、峰南荘前12個、岳駐車場6個の合計383個を回収した。

### 3 高山植物盗採防止対策

#### (1) 関係機関と合同で、高山植物盗採防止合同パトロールを実施

実施日：計2回実施(5月27日、8月1日)

参加機関：

花巻・遠野・宮古警察署、花巻市、遠野市、宮古市、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、岩手県(県南広域振興局保健福祉環境部、自然保護課、沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター)、岩手県教育委員会(生涯学習文化課)

実施結果

- ・ 1回目のパトロールでは3班に振り分けし、道路班では盗採防止チラシを通行車両へ配り、高山植物の保護を啓発した。早池峰班、薬師岳班ともに盗採と思われる現場は無かった。
- ・ 2回目のパトロールでは鶏頭山、早池峰、薬師岳の3班に振り分けてパトロールを行い、河原の坊登山道沿いでミヤマアズマギクの食害(30~40本)が見受けられ、ニホンジカが食べているのではと想定された。また、薬師岳にあるヒカリゴケが以前より減少している報告もあった。東日本大震災の影響により門馬コースの3箇所が土砂崩れを起こし通行止めである事を関係者へ報告した。

#### (2) 移入種駆除

移入植物のうち、特に進出の目立つセイヨウタンポポ、オオバコ等を駆除

実施日：6月5日(日) 河原の坊登山道、総合休憩所、県道沿いのタンポポ、オオバコを中心に駆除

参加機関：グリーンボランティア、花巻市、遠野市、宮古市、岩手南部森林管理署遠野支署、三陸北部森林管理署、岩手県(県南広域振興局保健福祉環境部、自然保護課、沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター)

### 4 自動車利用適正化対策

登山車両による県道の交通渋滞の緩和、路肩駐車や排気ガスによる植生への悪影響を防止するため、花巻市大迫町内川目岳から宮古市江繋までの県道紫波江繋線の区間の車両通行規制を実施してきている。現在では岩手県公安委員会の告示により6月第2日曜日から8月第1日曜日までの土、日曜日及び休日に時間帯で自動車(路線バス、シャトルバス、タクシー及び2輪のものを除く)が通行禁止となっている。代替交通手段とし

て、早池峰国定公園地域協議会がシャトルバスを運行した。

#### 交通規制の実施内容

##### (1) 期間

平成23年6月第2日曜日の山開きの日〔6月12日〕から8月の第1日曜日〔8月7日〕までの土曜、日曜日及び祝日（計18日間）

##### (2) 時間

大型車・特定中型車は、午前5時から午後5時まで  
上記以外は、午前5時から午後1時まで（規制対象外車両あり）

##### (3) 区間

主要地方道紫波江繋線 花巻市大迫町内川目岳地内から宮古市江繋地内の約16km

##### (4) 規制対象外車両

乗合バス（路線バス、シャトルバス）・タクシー・ハイヤー・二輪車・許可車両

#### ※車両交通規制の実績

延べ日数 18日（前年同数16日、2日増）

規制車両1,777台（バス21台含む）（前年1,760台 17台の増）

バス利用者（利用券販売枚数）7,262人（前年8,856人 1,594人の減）

登山者数 13,926人（前年16,730人 2,804人の減）

### Ⅲ 利用施設について 県自然保護課

山開き前に河原の坊、小田越両コースにおいて、登山道にかかる倒木の処理を行ったほか、転倒した標柱の整備を行い登山道安全確保に努めた。

現在案内板について、更新整備中。

### Ⅳ ボランティア活動の支援

平成14年度から、グリーンボランティアを募集し活動支援を行ってきており、現在、ボランティアの総数は130名（うち早池峰は91名）となっている。

早池峰山を活動拠点とするグリーンボランティアが昨年6月に「早池峰グリーンボランティアの会」を立ち上げたところであるが、本年度はスキルアップのために自主研修や公園利用者への意識啓発のため自主キャンペーンを実施するなど活発な活動を展開している。

#### ・早池峰グリーンボランティアの活動状況

ア 早池峰キャンペーン参加状況は、18日間で延べ189人。（前年度251人）

イ キャンペーン以外にも携帯トイレの普及活動、携帯トイレデー、移入種駆除、登山道補修などの活動へ協力した。